

みんなが主役
笑顔あふれる
美しきなかじま

人の和を大切にし安心して暮らせる村

村民みなが和を尊び、仲良く助け合いながら将来像を共有して村づくりに積極的に参加し、安全・安心なやすらぎのある生活を送ることができる村づくりを進めます。



みんなが
主役
01

みんなが
主役
02

中島村消防団第1分団第1部

【なかじまむらしょうぼうだんたいいちぶんだんたいいちぶ】

火災や水害時にいち早く駆け付ける地域の頼れる存在

村の主要施設が建ち並ぶ県道棚倉・矢吹線。この周辺に広がる滑津原地区を担当しているのが「中島村消防団第1分団第1部」です。「中島村には2分団10部の消防団があり、18歳以上の若者約200人が所属しています。中でも我々が担当している滑津原地区は範囲が広く、世帯数もアパートを入れて約300世帯と村一番の人口密集地域。ここを26人の隊員で守っていくのは大変ですが、その分やり甲斐と使命感があります」とみなさん。

2011年の東日本大震災のときには、安否確認や被害状況の把握の他、被災した住宅の後片付けの手伝いなどを率先して行い、地域の人に喜ばれました。「どこにどんな人が暮らしているかなど、地域のことを一番把握しているのが我々、消防団。何かあったときには一番最初に駆け付け、被害を最小限に食い止める。これからも日頃の訓練とチームワークで地域の安全・安心のために頑張っていきたいです」。



中島村赤十字奉仕団

【なかじまむらせきじゅうほうしだん】

災害時の炊き出しから独居老人のお弁当作りまで

平成2年に結成された「中島村赤十字奉仕団」は、助け合いと奉仕の精神で災害時の炊き出しから日常的な奉仕活動を行っているボランティア団体です。現在、会員は約50人。2011年の東日本大震災では、浜通りから本村に避難した被災者100人分の炊き出しを朝昼晩と1週間にわたって行いました。「私たちは村の大きなイベントがある度に、炊き出しの訓練を兼ねて麦茶や豚汁等を作って提供する奉仕活動を続けてきたんです」。

震災の時は、こうした日頃の訓練が役立ちました」とみなさん。また、日常的な活動としては月に1回、独り暮らしの高齢者のもとにお弁当を作って配達するという活動を行っています。「この活動は社会福祉協議会の依頼で行っているのですが、みなさん毎回楽しみにされていて、こうした活動を続けることで、高齢者の見守りと状況把握を兼ねたコミュニケーションの場を提供できればと思っています」。



みんなが主役
笑顔あふれる
美しきなかじま

心身ともに健康で心ふれ あう村

乳幼児から老年期まで生涯を通じて学びの機会に恵まれるとともに、村民1スポーツを目標として、人と人との交流機会にあふれた心も体も健康に暮らせる村づくりを進めます。



みんなが
主役
03

みんなが
主役
04

保育ボランティア「うさこちゃん」

【ほいくぼらんていあ「うさこちゃん」】

登録や予約なしで自由に 立ち寄れる子育て広場を開催

保育ボランティア「うさこちゃん」は、保育士を定年退職された方たちの発案で平成16年に結成された子育て支援の団体です。

「保育園や幼稚園に入る前の親子は結構、孤独なんです。まして近所に同年代の子どもがいなければなおさら。」

こうした行き場のない親子を支援する場があったらいいのに。しかも、登録や予約なしでも自由に立ち寄れて、子ども同士が遊んだり、お母さん同士が情報交換をしたり、私たちスタッフが気軽

に相談にのったり…。そんな思いで始めたのが月1回の子育て広場です」とみなさん。

現在は、村内在住の0歳～3歳位までの親子を対象に、毎月第2火曜日（8月と1月は除く）、保健センターを会場に開催しています。

「参加費は無料で、午前10時から11時半の間なら何時に来てもOKだし、何か悩み事があった気軽に相談できる。そんな子育てに奮闘するお母さんたちの居場所でありたいと思っています。」



筋カスマイルクラブ

【きんりよくすまいるくらぶ】

週1回の筋力トレーニングで 健康維持と介護予防

「筋カスマイルクラブ」は、本村が生活習慣病の予防や改善、介護予防や転倒防止などを目的に平成16年度から開催しているトレーニングクラブ（無料）です。

メンバーは登録制で、月曜、水曜、金曜日のいずれかの曜日に登録。週に1回、午後1時半から約2時間、屋内ゲートボール場に併設されたトレーニング室の機器を使って筋力アップを目指します。

「自分で運動しようと思っても、家の近所を散歩したり、たまにゴ

ルフに出掛けるくらい。年を取ると体を動かす機会がどんどん減っていくんですよ」とみなさん。

「でも、ここにある機器を使えば日頃使わない筋肉も鍛えられるし、仲間がいるので楽しく運動ができる。それに、無料の送迎バスが迎えに来てくれるから通いやすいし、毎回記録を取っていることでトレーニングの成果が分かる。ここに来ないと体が鈍るので、休まず通って健康を維持していきたいです。」



みんなが主役
笑顔あふれる
美しきなかじま

活力あるみどり豊かな住みよい村

代々受け継がれてきた美しい自然環境と村民の努力によって築いてきた快適な生活環境を誰もが享受するとともに、豊かで活力ある生活を送ることができる村づくりを進めます。



みんなが主役 05



みんなが主役 06

ふるさと中島・川原田を想う会

【ふるさとなかじま・かわはらだをおもうかい】

笑顔がある優しさがある、
わがふるさとを後世に

平成24年に県の「地域づくり総合支援事業」の助成を受けて発足したのが「ふるさと中島・川原田を想う会」です。

「来迎寺の境内で行われていた盆踊りが震災の前途絶えてしまっ。でも、川原田に暮らす人にとっては夏の楽しみであり、地域の絆を育む大切な伝統行事だったんです。このまま途絶えさせてはならない。そう考えた有志が集まり、川原田を想う会を結成。もう一度、自分たちの住むまちを見直し、笑顔の絶えない、元気で住

みよい川原田にしていこう!ということになったんです」とみなさん。

これまで盆踊りの復活や花いっぱい運動、寺子屋教室や狛犬ツアーなど、地域の人々が参加できるイベントを企画し、地域の絆づくりや伝統行事の復活などに貢献してきました。

「地域のため!ふるさとのためなら!と思っている人はたくさんいると思うのです。そういう方たちの思いがカタチになるようなイベントを、これからも企画していきたいです」。



サラダ菜農家の稲田さんご夫妻

【さらだなのうかのいなださんごふうふ】

品質の安定したサラダ菜の
水耕栽培を極めたい

約一反半のビニールハウスで、水耕栽培のサラダ菜を年間を通して出荷している稲田喜幸さん・美佐江さんご夫妻。

「今から20年程前に、私の父が天候に左右されない新しい作物を!と葉物野菜の水耕栽培を試験的に始めたのがきっかけなんです」と喜幸さん。

以来、稲田家ではチンゲン菜やフリルレタス、サラダ菜などの水耕栽培をメインにした農業経営を行ってきました。

「水耕栽培は年間を通して出荷

できる、減農薬栽培が可能、腰を屈めずクリーンな環境で作業ができるなどのメリットがある一方、年間を通して出荷するため休みがない、冬は燃料代が掛かる、夏の温度管理が難しいなどのデメリットもあります。ただ、やり方によっては、これまでとは違う農業の在り方や可能性を秘めていると思うのです。今の段階では納得できるサラダ菜になるのはわずかな期間ですが、年間を通して高品質のサラダ菜を提供できるよう、水耕栽培を極めていきたいです」。

